

整形外科カリキュラム

I. 目的と特徴

整形外科研修では、徳島大学病院卒後研修プログラム中の経験すべき疾患のうち運動器疾患の症状、病態、治療法を理解し、実行することを目的としています。

徳島大学整形外科では、運動器疾患をバランスよく研修できます。運動器とは、四肢・体幹の骨格、関節、靭帯、筋や脊髄・神経であり、身体感覚を脳に伝えて、反射的あるいは意志に基づく身体の運動を行う器官です。運動器により営まれる運動は、脳や神経系を賦活し、循環系や代謝系の健康を保つために重要な役割を果たしています。

疾患群に応じグループに分かれます。小児整形外科、外傷学、脊椎・脊髄疾患、関節疾患、リウマチ、スポーツ医学、手の外科、骨軟部腫瘍などについて専門医が直接指導にあたります。また、リハビリテーションも学会専門医が指導にあたります。

II. 研修責任者

安井 夏生 教授 (日本整形外科学会専門医)

III. 運営指導体制および指導医数

教授 1名、病院教授 1名、准教授 1名、講師 2名、助教 5名、医員 6名。日本整形外科学会専門医は16名。研修医1名につき、1人の指導医が選任され、入院患者の診療を共同で行います。日本リハビリテーション医学会専門医3名、日本脊椎脊髄病学会指導医1名、日本体育協会スポーツドクター5名、日本整形外科脊椎内視鏡手術技術認定医1名、指導医講習会受講者数は3名です。

IV. 臨床実績

外来患者数は1日に100人程度、手術件数は年に約400例を数えます。主な治療内容は、小児整形（ボンセッティ法による内反足治療、イリザロフ創外固定器を使用した脚変形矯正など）、脊椎・脊髄外科（顕微鏡を使用した脊髄腫瘍手術、内固定剤を使用した脊柱変形矯正、内視鏡を使用した低侵襲治療など）、関節外科（各種人工関節置換、骨切りによる関節再建術など）、スポーツ医学（靭帯再建手術、内視鏡による低侵襲手術など）、手の外科（手の機能再建、マイクロサージャリーなど）、骨・軟部腫瘍を中心に取り組んでおります。

V. 研修目標

一般目標（GIO）：

- （外来）プライマリ・ケアを含む外来診療を適切に実施する能力を養う。
- （病棟）主治医として整形外科領域の基礎的臨床能力を持ち、入院患者の全身局所管理が適切に行える。
- （治療）整形外科領域の基礎的治療に関する意義、原理を理解し、手術適応を決め、手術手技を習得し、治療前後の管理ができる。

行動目標（SBO）：

1. 整形外科外来において適切な問診、診察を行うことができる。
整形外科の理学的検査（身体計測、骨関節の身体所見、神経学的検査など）を実施し、所見を判定できる。
2. それらについて適切な検査を選択し、自ら行い、所見を判定できる。
以下の検査を実施し、所見を判定できる。
血液、生化学、検尿、関節液検査、病理組織検査
脊髄造影、神経根ブロック、関節造影、筋電図、電気生理学検査
X線検査、ストレスX線検査、MRI、CT、核医学検査
3. 検査結果等を総合して、診断を下すことができる。
以下の疾患について理解する。
骨折、脱臼、神経・血管・筋腱損傷、脊椎・脊髄損傷、四肢変形
骨関節の感染症、変形性関節症、脊椎変性疾患、骨粗鬆症、スポーツ障害
骨・軟部腫瘍、手・足の外科、マイクロサージャリー、
内反足、先天性股関節脱臼などの代表的な小児整形外科疾患、骨系統疾患
4. 適切な治療を選択し、初期治療や救急の処置を行うことができる。
術前後の管理ができる。
偶発症に対して迅速かつ的確に処置が行える。
救急医療を要する疾患に対し専門医と共に初期治療が行える。
骨軟部悪性腫瘍の放射線療法および化学療法の適応を理解し、全身化学療法のレジメを指導医とともに考え、施行できる。また、治療による合併症の管理ができる。
診療録の適切な記載ができ、紹介状を書くことができる。
整形外科手術を理解し、その介助ができる。

VI. 研修内容

(外来)

問診、症状、整形外科疾患の身体的所見、神経学的所見の取り方を指導医から学ぶ。単純 X 線検査、CT、MRI、超音波検査などの検査を適切に実施し、所見を判断できるよう指導します。

(入院患者の管理、治療)

指導医とともに主治医として患者に対して全身局所管理を行い、適切に治療計画を建て、患者・家族に正しく情報を伝え、了解のうえで医療を行います。また、指導医とともに救急医療を要する疾患に対しても初期診療を行えるようになることを目標としています。

疾患の種類と程度および患者の状態に応じて、手術の適応と術式を判断し、手術によって起こりうる偶発症、および手術後の合併症、続発症、機能障害について理解し、手術の助手をつとめ、可能な場合執刀を行います。

VII. 研修スケジュール

各種整形外科疾患患者を担当する。受け持ち患者の検査、治療には責任をもってあたり、症例検討会、教授回診では、症例提示を行います。

病棟回診	: 月曜日～金曜日	午前
教授回診	: 火曜日	午前
手術	: 水曜日、金曜日	
術前カンファレンス	: 月曜日	18:00~19:30
術後カンファレンス	: 月曜日	8:00~9:00
抄読会	: 水曜日	7:30~8:30

VIII. 評価法

研修責任者と指導医が研修態度、症例提示、患者さん・家族・スタッフへの対応、知識・技術の習得度などを総合的に評価し、研修終了時にフィードバックをします。最終的評価はオンライン臨床研修評価システム (EPOC) を用いて行います。